

たすきをつなぎ県民駅伝

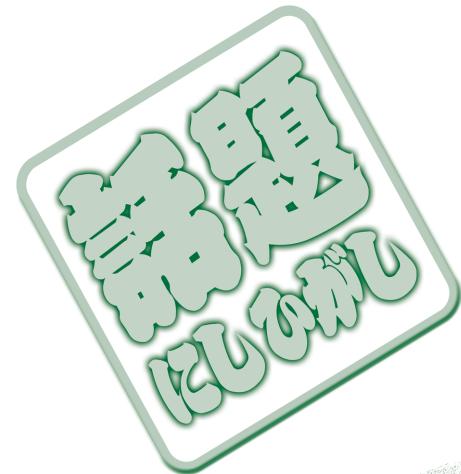
9月1日（日）、「第27回青森県民駅伝競走大会」が青森市で開催され、県内40市町村のランナーが健脚を競いました。

鶴田町からは、七戸聖矢さん（1区）、斎藤優さん（2区）、今大雅さん（3区）、成田侑哉さん（4区）、棟方一楽さん（5区）、新井希寧さん（6区）、上原涼さん（7区）、藤田叶羽さん（8区）、下山蓮さん（9区）の9人が代表選手として出場。日頃鍛え上げた健脚でたすきをつなぎ、アスパムから新青森県総合運動公園陸上競技場までの9区間約26.1kmのコースを走り抜けました。

意地と粘りを見せた選手の走りの結果、記録は1時間37分39秒。昨年よりも順位を上げ、町の部で15位の成績を収めました。



△選手一人一人がたすきをつなごうと全力の走りを見せました



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。

岩木山神社に大しめ縄を奉納

五穀豊穣や家内安全を岩木山に祈願する「お山参詣」が8月28日（水）から8月30日（金）までの3日間、岩木山神社で行われました。

29日には、登山囃子と、「サイギ、サイギ」の掛け声が響く中、当町の山道町内会（一戸雅人会長）の皆さんのが神社の拝殿に大しめ縄を奉納しました。

しめ縄は3年に一度古くなったものと交換することが恒例で、50年以上前から続く山道町内会の伝統行事。この日は、胡桃館小学校の全校児童らも参加し、太鼓や笛で登山囃子を響かせながら神社を目指して練り歩き、大しめ縄を神社の拝殿に取り付けました。



△拝殿に大しめ縄を取り付ける山道町内会の皆さん

子どもたちの心を守るために

9月6日（金）、鶴田小学校の5、6年生の児童を対象に、小学生向けのSOSの出し方教室（自殺対策事業）が開かれました。

講師は秋田市在住の臨床心理士である金澤久美子氏が務めました。金澤さんは「悩み事を相談することができる人・信頼できる人を家族や友人、先生、身近な大人から3人探してみましょう。信頼できる人に話をしてことで、自分の気持ちが整理でき、辛さを受け止めてもらうことができます」とSOSの出し方を伝えていました。

参加した児童は「今悩んでいることはないけど、悩むことがあったら今回教えて貰ったとおり、周りの人に相談します」と話していました。



△子どもたちに講義する金澤講師



△相川町長から内閣総理大臣お祝い状を伝達される池田ナヨさん

長寿を祝う敬老会

9月18日（水）、町国際交流会館で敬老会が開催され、参加者約320人が長寿を祝いました。

開会にあたり、相川町長は「町では、福祉に力を入れ、笑顔と元気の溢れる町を目指している。皆さまには、今後も豊かな経験と知恵をまちづくりに活かしてほしい。」とあいさつ。続いて、88歳の長寿者33人に顕彰状が贈られ、今年度100歳を迎える池田ナヨさん（胡桃館）に内閣総理大臣お祝い状および青森県知事顕彰状が伝達されました。

町の最高年齢長寿者（令和元年9月1日現在）は、女性が103歳の小山内みちさん（木筒）、男性では99歳の工藤智英さん（寺町）です。

子どもたちの英語力向上のために

9月19日（木）、鶴田町建設協会（松山淳会長）の皆さんのが、小学校の英語教育へ役立ててもらいたいと、タブレット2台（約20万円相当）を町へ寄贈しました。

寄贈は、町が平成18年度に国の英語教育特区認定を受けてから続けられており、今回で13回目。寄贈されたタブレットはさまざまな英語教材ソフトを導入し、町内の小学校で活用されます。

松山会長は「（タブレットは）今の子どもたちには身近なものなので、十分に活用してもらえると思う」と述べ、中野教育長は「毎年の寄贈は本当にありがたい。子どもたちが英語の力を付けてくれればうれしい」とお礼を述べていました。



△英語教材を寄贈した松山会長（中央）